

(別紙4(2))

事業所名 社会福祉法人甘樫会あまがし苑高田

作成日: 令和2年5月27日

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	10	運営に関する利用者、家族等意見の反映にて、施設側としては意見の聞き出しを直接お目にかかったときや電話でご本人の様子を報告した際に、意見や要望を聞き出していたつもりであった。しかし家族等側としては、意見や要望があっても直接言い出せないこともあることから家族の意向を聴くための他の仕組み作りが必要。	家族の意向を聴くための仕組み作りの構築	アンケートを作成し、家族に郵便で送付・回収を行う。その際誰が記入したかは解らないように無記名とする。 新型コロナウイルスが落ちつてからはなるが、定期的な面談を行い、家族の思いを聴く場面をつくる。	12ヶ月
2	23	思いや意向の把握で、利用者の中には認知症などのため思いを伝えられない方もおられる。その場合その方がどのような人生を送ってきたのかその人の趣味や特技、生き甲斐などのその人を理解・把握するための情報が欠如していた。	利用者がどのような人生を歩んできたのか、趣味や特技、生き甲斐などの更なる情報の把握に努めるとともに、記録するためのアセスメント用紙を工夫して利用者の思いの把握と理解に職員が共有しやすい環境作りをする。	家族等から面談等の際に、ご本人の過去の様子を何うように努め記録に残し職員が共有できるようにする。記録紙にセンター方式B群の様式の活用を検討。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目の を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。